

活性化モデル商店街の概要

商店街名：足助中央商店街（協）

●キャッチフレーズ

中馬なごやか市を活かした地域ブランドの創出

●活性化モデル商店街としてのモデル性

次世代の商売の担い手創出（学生）及び地域ブランドの創出・強化

◎商店街の将来ビジョン

過疎化、少子高齢化により商圈人口が減少し、商店街地区以外から小売店がなくなるとともに、子供を持つ若い世代を中心に、地域外への購買力の流出がおきている。また、商店街地区における2年前からの大きなインフラ整備（電柱の地中化、道路、橋の修景等）に伴う道路の通行止めの影響による来店者の減少も続いている。

当商店街は中山間地域にあって、最寄品店及び買回り品店が混在しており、来街者は高齢者、主婦が中心で、徒歩、自家用車、コミュニティバス等による来街となる地域型商店街である。また、紅葉の名所「香嵐渓」に隣接することから、観光客の誘客のためのイベントも開催しているが、「香嵐渓」の観光客自体が減少している。

このため、新たな町の魅力として重要伝統的建造物群保存地区に選定された町並みを活かした商店街の活性化を図ることとし、次世代の商売の担い手の創出及び地域ブランドの創出の推進に取り組んで行く。

- 1 足助の古い町並み（重要伝統的建造物群保存地区）を活かした事業の推進
- 2 空き店舗対策事業の推進
- 3 地域を支える商店街事業の推進

◎具体的に取組む事業内容

○地域資源活用事業（26年度～27年度）

- ・中馬街道の交流拠点を活かした市の開催
- ・学生による商品開発・創出
- ・地域ブランドの創出・情報発信